

第 2 期子ども・子育て支援事業計画（子ども・子育て支援施策）の中間見直しについて

1 子ども・子育て支援施策の見直しに係る基本的な考え方と見直し案について

(1) 子ども・子育て支援施策の見直しに係る基本的な考え方について

必要に応じ、子ども・子育て支援施策の内容、目標値等の見直しの要否を決定します。

施策の内容、目標値等を見直す基準

令和 2、3 年度に状況が変わったものや施策の一部が終了したもの、目標を達成したもののについて施策の内容、目標値等を見直します。

(2) 子ども・子育て支援施策の見直し案について

子ども・子育て支援施策についての見直し案は以下のとおりです。

基本目標 2 子どもへの教育・保育環境をより充実します

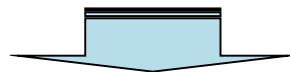
2-7 地域に開かれた学校づくり

31 地域に開かれた学校づくりの推進 [教) 学校教育課]

全小・中学校に学校評議員等を配置し、地域に開かれた学校づくりを推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
学校評議員等の配置	各小中学校長の推薦により各校 3 人の学校評議員を委嘱し学校に配置しています。 平成 30 年：101 人	学校評議員制度に替わる制度の導入を検討し、引き続き地域に開かれた学校づくりを推進します。



31 地域に開かれた学校づくりの推進 [教) 学校教育課]

全小・中学校に学校運営協議会制度を導入し、地域に開かれた学校づくりを推進します。

(見直し後の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
<u>学校運営協議会委員の配置</u>	<u>R3 実績：2 地区 24 人</u>	<u>学校運営協議会委員を全小・中学校に配置します</u>

学校評議員制度に替わり、令和 5 年度から学校運営協議会を全小・中学校に導入するため施策内容、評価指標、現状値 (H30) 及び目標値 (R6) を変更します。

2-10 多様な体験活動の充実

42 児童の体験教室事業 [美術博物館]

郷土の自然や歴史を学ぶ知識の広場として、博物館を広く一般に公開し、生涯学習社会に対応した博物館活動の推進に努めるとともに、特別展、企画展、体験教室、観察会・見学会、映画会などを開催し、子どもの健全育成を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
参加人数	特別展(1回): 5,923人 (歌川広重展) 企画展(3回): 11,858人 郷土学習(29回・24校): 1,590人 美術博物館祭(3日間): 1,309人 無料観覧日: 1,946人 (5月: 1,001人・11月: 945人)	特別展(1回): 5,000人 企画展(3回): 10,000人 郷土学習: 1,500人 無料観覧日: 1,900人 (5月: 1,000人・11月: 900人)



42 児童の体験教室事業 [美術博物館]

郷土の自然や歴史を学ぶ知識の広場として、博物館を広く一般に公開し、生涯学習社会に対応した博物館活動の推進に努めるとともに、特別展、企画展、体験教室、観察会・見学会 _____ などを開催し、子どもの健全育成を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
参加人数	特別展(1回): 5,923人 (歌川広重展) 企画展(3回): 11,858人 郷土学習(29回・24校): 1,590人 美術博物館祭(3日間): 1,309人 無料観覧日: 1,946人 (5月: 1,001人・11月: 945人)	特別展(1回): 5,000人 企画展(3回): 10,000人 郷土学習: 1,500人 無料観覧日: 1,900人 (5月: 1,000人・11月: 900人)

映画会は実績及び予定がないことから、施策内容から映画会の記述を削除します。

42 児童の体験教室事業 [環境生活課]

小中学生を対象に、自然ふれあい教室、いのちの授業、獣医さんの野生動物救護の現場ウォッチングを開催し、自然や命の大切さを学ぶ活動を実施します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
各種活動の実施	自然ふれあい教室(15回): 931人 いのちの授業(39クラス): 1,220人 ウトナイ湖野生鳥獣センターのお仕事体験&傷病鳥獣施設見学(1回): 11人	各種活動を引き続き実施します。



42 児童の体験教室事業 [環境生活課]

小中学生を対象に、自然ふれあい教室、こころの授業、獣医さんの野生動物救護の現場ウォッチングを開催し、自然や命の大切さを学ぶ活動を実施します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
参加人数	自然ふれあい教室(15回): 931人 いのちの授業(39クラス): 1,220人 ウトナイ湖野生鳥獣センターのお仕事体験&傷病鳥獣施設見学(1回): 11人	各種活動を引き続き実施します。

「いのちの授業」の名称が「こころの授業」へ変更となっていることから、施策内容の記述を修正します。

基本目標 3 それぞれの家庭環境に応じたきめ細かな支援をします

3-1 子育て家庭等への経済的負担の軽減

55 特定不妊治療費助成事業 [健康支援課]

不妊治療のうち体外受精・顕微授精(特定不妊治療)、男性不妊治療を受けたご夫婦の経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
制度の実施	助成件数: 132件	制度の周知徹底を図り、これまで以上に不妊・不育症治療を受けられる機会を拡大していきます。



55 特定不妊治療費助成事業 [健康支援課]

不妊治療のうち体外受精・顕微授精(特定不妊治療)、男性不妊治療を受けたご夫婦の経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
制度の実施	助成件数: 132件	特定不妊治療の健康保険適用に伴い令和5年度末に事業終了予定

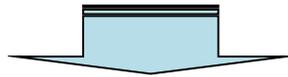
特定不妊治療が健康保険適用となることに伴い、事業が終了となる予定であることから、目標値を「令和5年度末に事業終了予定」という記述に修正します。

56 不育症治療費助成事業 [健康支援課]

不育症の検査・治療を受けたご夫婦の経済的な負担を軽減するため、検査・治療費の一部を助成します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
制度の実施	不育症治療費助成件数：1件	制度の周知徹底を図り、これまで以上に不妊・不育症治療を受けられる機会を拡大していきます。



56 不育症治療費助成事業 [健康支援課]

不育症の検査・治療を受けたご夫婦の経済的な負担を軽減するため、検査・治療費の一部を助成します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
制度の実施	不育症治療費助成件数：1件	制度の周知徹底を図り、これまで以上に不育症治療を受けられる機会を拡大していきます。

特定不妊治療が健康保険適用となることに伴い、事業が終了となる予定であることから、目標値の「不妊・不育症治療」という記述につきましては、「不育症治療」に修正します。

新規 1 コウノトリ検査事業 [健康支援課]

子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な不妊治療を開始できるよう不妊検査に係る費用に対し助成します。

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
制度の実施	新規事業 R3実績：116件	制度の周知徹底を図り、これまで以上に不妊検査を受けられる機会を拡大していきます ※R2年度から事業開始

3-5 保護の必要な子どもの受け入れ先の確保

78 子育て短期支援事業（ショートステイ）〔こども支援課〕

保護者の病気や入院、事故などにより、家庭での児童養育が一時的に困難になった場合、里親において一時的に児童を短期間預かる子育て短期支援事業を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値（H30）	目標値（R6）
支援体制	利用世帯数：12 世帯 利用延べ日数：62 日 契約里親数：8 世帯	支援体制を維持します。



78 子育て短期支援事業（ショートステイ）〔こども相談課〕

保護者の病気や入院、事故などにより、家庭での児童養育が一時的に困難になった場合、里親宅において一時的に児童を短期間預かる子育て短期支援事業を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値（H30）	目標値（R6）
支援体制	利用世帯数：12 世帯 利用延べ日数：62 日 契約里親数：8 世帯	支援体制を維持します。

一時的に児童を預かる場所が里親宅であることから、施策内容の「里親」という記述につきましては、「里親宅」に修正します。

基本目標 4 仕事と子育ての両立を支援します

4-2 多様なニーズに対する保育サービスの充実

93 乳児保育事業

女性の就労増加や就労形態の変化により、1 歳未満児の保育に対する社会的要請が増大しているため、乳児保育の充実に努めます。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値（H30）	目標値（R6）
実施園数	30 園	40 園



93 乳児保育事業

女性の就労増加や就労形態の変化により、1歳未満児の保育に対する社会的要請が増大しているため、乳児保育の充実に努めます。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施園数	30 園	<u>43 園</u>

事業を実施する園の増加が見込まれることから、目標値を 43 園に変更します。

94 一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化や疾病などのやむを得ない事由や保護者の育児疲れなどの解消に対応するため、一時的に保育が必要となる児童を預かる一時預かりを推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施園数	5 園	6 園



94 一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化や疾病などのやむを得ない事由や保護者の育児疲れなどの解消に対応するため、一時的に保育が必要となる児童を預かる一時預かりを推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施園数	5 園	<u>7 園</u>

「地域子ども・子育て支援事業の需要量及び確保の方策の中間見直しについて」でもありましたように、事業を実施する園の増加が見込まれることから、目標値を 7 園に変更します。

95 病児・病後児保育事業

病気の「回復期に至らない場合」又は病気の「回復期」にあって、集団での保育が困難な児童を預かる病児・病後児保育事業を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施か所数	4 か所	6 か所



95 病児・病後児保育事業

病気の「回復期に至らない場合」又は病気の「回復期」にあつて、集団での保育が困難な児童を預かる病児・病後児保育事業を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施か所数	4 か所	<u>5 か所</u>

「地域子ども・子育て支援事業の需要量及び確保の方策の中間見直しについて」でもありましたように、新型コロナウイルス感染症の影響により遅れが生じていることから、目標値を5 か所に変更します。

96 延長保育事業

保護者の労働形態の多様化、通勤時間の増加等に伴い、通常の開所時間（午前7時30分～午後6時30分）を前後30分又は後ろ30分延長して開所する延長保育を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施園数	11 園	実施園数を維持します。



96 延長保育事業

保護者の労働形態の多様化、通勤時間の増加等に伴い、通常の開所時間（午前7時30分～午後6時30分）を前後30分又は後ろ30分延長して開所する延長保育を推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
実施園数	11 園	<u>13 園</u>

「地域子ども・子育て支援事業の需要量及び確保の方策の中間見直しについて」でもありましたように、事業を実施する園の増加が見込まれることから、目標値を13 園に変更します。

基本目標 5 地域で支えあい安心して子育てができる環境をつくります

5-5 安全安心なまちづくりの推進

115 安心安全な道路整備 [道路河川課、道路維持課]

人にやさしい街づくりを目標に、安心・安全に配慮した道路整備、歩道のバリアフリー化、除雪体制の充実などを推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
対象路線の整備	苫小牧駅周辺等の歩道のバリアフリー化 小学校周辺道路の交通安全対策実施	歩道のバリアフリー化、小学校の通学路等の交通安全対策を引き続き実施します。
除雪体制の充実	除雪体制の時間短縮	引き続き除雪体制の充実を図ります。



115 安心安全な道路整備 [道路建設課、維持課]

人にやさしい街づくりを目標に、安心・安全に配慮した通学路の交通安全対策、除雪体制の充実などを推進します。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
対象路線の整備	苫小牧駅周辺等の歩道のバリアフリー化 小学校周辺道路の交通安全対策実施	<u>通学路等の交通安全対策</u> を引き続き実施します。
除雪体制の充実	除雪体制の時間短縮	引き続き除雪体制の充実を図ります。

歩道のバリアフリー化については、関連する計画等の進捗に併せて継続するか検討するため、具体的な計画が未定であることから、施策内容及び目標値から「歩道のバリアフリー化」に関する記述を削除します。

基本目標 6 一人ひとりの子どもの特性に配慮したきめ細かな支援をより充実します

6-1 児童虐待防止に対する対策

134 児童相談複合施設における児童虐待対応対策の充実 [こども支援課]

苫小牧市子ども家庭総合支援拠点と室蘭児童相談所苫小牧分室が複合する施設を整備し、児童虐待対応体制の強化を図ります。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
児童虐待対応体制	新規施策	児童虐待対応体制を維持します。



134 苫小牧市こども相談センターにおける児童虐待対応策の充実 [こども相談課]
 苫小牧市子ども家庭総合支援拠点と室蘭児童相談所苫小牧分室が入る苫小牧市こども
 相談センターで、児童虐待対応体制の強化を図ります。

(当初の評価指標・現状値・目標値)

評価指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
児童虐待対応体制	新規施策	児童虐待対応体制を維持します。

児童相談複合施設が整備され、名称が「苫小牧市こども相談センター」となったため、施策名及び施策内容の記述につきまして修正を行います。

(3) 子ども・子育て支援施策の担当課の変更について

子ども・子育て支援施策の担当課について、現状に合わせて以下のとおり修正します。

No.	施策名	担当課	
		当初	見直し後
26	こども国際交流事業	協働・男女平等参画室 (国際交流)	未来創造戦略室
33	いじめ・不登校等相談	こども支援課	こども相談課
48	子どもに有害な環境排除に向けた取り組み	こども支援課	青少年課
74	親の子育て力向上のための講座の開催	こども支援課	こども相談課
78	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	こども支援課	こども相談課
79	里親制度	こども支援課	こども相談課
100	子育てサークル活動助成事業	こども支援課	こども育成課
105	ファミリー・サポート・センター事業	こども支援課	こども育成課
111	「希望の鐘」吹鳴事業	こども支援課	青少年課
115	安心安全な道路整備	道路河川課 道路維持課	道路建設課 維持課
121	交通安全教室	安全安心生活課	市民生活課
122	交通安全啓発の実施	安全安心生活課	市民生活課
123	巡回広報・早朝啓発の実施	安全安心生活課	市民生活課
124	登校時街頭指導	安全安心生活課	市民生活課

No.	施策名	担当課	
		当初	見直し後
125	交通安全施設整備事業	安全安心生活課	市民生活課
126	広報誌発行事業	こども支援課	青少年課
127	関係機関・団体との情報交換	こども支援課	青少年課
128	巡回活動事業	こども支援課	青少年課
129	「子どもSOSの家」運動の推進	こども支援課	青少年課
130	「子どもを守り心を育てる運動」の取り組みの推進	こども支援課	青少年課
131	防犯啓発事業	安全安心生活課	市民生活課
132	要保護児童対策地域協議会	こども支援課	こども相談課
133	児童相談体制の充実	こども支援課	こども相談課
134	児童相談複合施設における児童虐待対応体制の充実	こども支援課	こども相談課
135	児童虐待防止の出前講座	こども支援課	こども相談課
136	児童虐待に対する専門性の向上	こども支援課	こども相談課
137	児童相談所との連携強化	こども支援課	こども相談課
138	養育支援訪問事業	こども支援課	こども相談課
139	相談体制の充実	こども支援課 協働・男女平等参画室 (男女平等参画)	協働・男女平等参画室 (男女平等参画)